

スポーツの秋、真っ盛り。

文責 学校長



～各部、新人戦で1・2年生躍動～

1 弓道部 男子団体優勝、女子団体優勝・個人優勝。強い武高復活!

9月20日(日)・21日(祝)に佐賀県高校弓道新人大会が開催され、本校は女子団体戦で優勝、個人戦では野口萌花さん(2-5)が優勝、藤みどりさん(2-4)が第2位、中島理菜さん(2-5)が第3位に輝き、本校が個人戦の上位を独占しました。また、男子団体も決勝リーグ戦4勝0敗という完全勝利で見事優勝に輝きました。

女子団体戦のメンバーは、野口萌花さん(2-5)・三浦凜子さん(2-6)古賀寿咲(2-4)・府川優莉さん(2-5)、藤みどりさん(2-4)・草場心温(1-6)、井下綾乃さん(1-6)です。男子団体戦のメンバーは、北雅矢くん(2-1)、江頭大聖くん(2-1)、迎青龍くん(2-3)、有富巧実くん(2-1)、星山知慶くん(2-4)、百武海斗くん(2-2)、中村温斗くん(2-1)です。

※例年であれば、この大会の団体3位・個人3位までは九州新人選手権大会への出場権を得ますが、残念ながら、今年度は中止が決定しています。



2 陸上部 男子200m・400mで優勝。女子砲丸投げで優勝。マイルリレーも第2位。

9月19日(土)から3日間の日程で「佐賀県高校新人陸上大会」が開催され、男子400mで吉村峻汰くん(2-3)が第1位、男子200mで川崎秀智くん(1-4)が第1位、三段跳びで山口源太郎くん(1-2)が第2位、男子400m×4(1600m)リレーで廣瀬輝一くん(1-1)、吉村峻汰くん、川崎秀智くん、森浩樹くん(1-4)が第2位に、それぞれ輝きました。また、女子では久原ひなたさん(2-6)が砲丸投げで第1位、女子ハンマー投げで第2位に輝きました。3年生の思いを受け継いだ1・2年生部員が新チームで見事な結果を出しています。

3 今週の話成語・・・「四面楚歌」 【問題】「四面楚歌」を英語で表現すると?

敵に囲まれて孤立無援の状態。(出典:『史記』項羽本紀より)

【由来】劉邦と天下を争う項羽の軍隊は垓下に砦を築きます。兵士の数は減り食糧も乏しく敵の兵がこの砦を幾重にも取り囲んでいます。夜になると劉邦軍の兵士が項羽の故郷、楚の歌を歌う声が聞こえてきます。項羽はこれを聞いて驚き「楚の人間はみな敵に寝返ってしまったのか」と嘆きました。ちなみに楚とは中国の江南地方にあった地域名(元は国名。のちに秦に滅ぼされる)で、項羽はこの楚にある貴族の家柄の出。姓を項、名を籍、字を羽といい、一般に項羽と呼ばれます。項羽は別れの杯をかわそうと床から起き帳の中に入ります。この戦いにずっとついてきた虞美人という名の愛妾もいっしょです。また騅という名の名馬もそばにいます。ここで項羽は詩を作ってそれを朗詠するのです。

「力は山を抜き、気は世を覆う 時利あらず騅ゆかず 騅のゆかざるを如何すべき 虞や虞や汝を如何せん(私には山を引き抜く力と世を覆う気迫があった。今時運を失い、愛馬騅も歩もうとしない。前に進まぬ騅をどうしたものか。虞よ虞よお前をどうしたらよいものか。)」この悲壮な物語から生まれた話成語が「四面楚歌」です。楚の人間が楚の歌に囲まれるのですから、なぜ周囲がみな敵という意味になるのか不思議です。実は味方がみな寝返り、敵方に回って自分を包囲しているという話からできた話成語なのです。(参考:「中国語スクリプト」より)

4 今週の名言・・・吉田沙保里(三重県出身)の言葉です。

- 人生は一回きり。叶えたい夢、なりたい目標を持たないと楽しくないじゃないですか!
- 試練は生きている限り何度も訪れるので、一段一段クリアしながら試練と友達になって楽しむことができれば、きっと大きく成長できている自分に気づくはずです。

【解説】日本のレスリング界を引っ張ってきた吉田沙保里選手の言葉です。高い目標を持ち、数々の試練を乗り越えてオリンピック3連覇、世界大会16連覇を果たした彼女ならではの魂の込められた言葉です。

「武高生、人生の目標を持っていますか? 与えられた試練を乗り越え、成長できていますか?」

【吉田沙保里について】日本のレスリング選手・指導者。女子レスリング個人で世界大会16連覇、個人戦206連勝を記録し、「霊長類最強女子」の異名を持つ。2012年には13大会連続世界一でギネス世界記録認定、国民栄誉賞を受賞。紫綬褒章受章者(04年、08年、12年)。中京女子大学(現・至学館大学)卒業。同大学元副学長。

5 入試によく出る漢字・・・『一字訓ベスト400』から・その20 いくつか読めますか?

- ①麗しい(華麗) ②潔い(簡潔) ③悔しい(後悔) ④偉い(偉人) ⑤喧しい(喧噪)
- ⑥眩しい(眩耀) ⑦著しい(顕著) ⑧煩しい(煩雑) ⑨稚い(稚魚) ⑩姦しい(女三人寄れば一)
- ⑪侘しい(侘茶) ⑫醜い(醜悪) ⑬惨い(惨劇) ⑭卑しい(卑下) ⑮畏しい(畏怖)
- ⑯乏しい(貧乏) ⑰凄まじい(凄絶) ⑱忝い(忝涙) ⑲訝しい(怪訝) ⑳夥しい(夥多)

6 今週の一冊…井上ひさし氏の『十二人の手紙』(中公文庫)です。

キャバレーのホステスになった修道女の身も心もボロボロの手紙、上京して主人の毒牙にかかった家出少女が弟に送る手紙など、手紙だけが物語る笑いと哀しみがいっぱいの人生ドラマ。 (参考:本書裏表紙説明より)

【解説】この作品は、中央公論社が1980年に刊行した作品で40年ぶりに新装文庫本として出版され、40年の歳月を経て再びブレイクし10万部を増刷するヒット作になっています。インパクトのある装丁が目に入り読んでみました。短編集のようなスタイルで家族や友人に宛てた12人の手紙が織りなすミステリー小説です。濃密な人間ドラマから予想だにしない結末に至る、その仕掛けの妙に読者はいつの間にか井上ワールドに引き込まれてしまうことになるでしょう。

【作者・井上ひさし氏について】1934年生まれ。上智大学仏語科卒。NHKの人形劇「ひょっこりひょうたん島」など放送作家として活躍後、戯曲・小説などの執筆活動に入る。小説では『手鎖心中』で直木賞、『吉里吉里人』で日本SF大賞および読売文学賞、『腹鼓記』『不忠臣蔵』で吉川英治文学賞、『東京セブンローズ』で菊池寛賞、戯曲では「道元の冒険」で岸田戯曲賞、「しみじみ日本乃木大将」「小林一茶」で紀伊國屋演劇賞および読売文学賞、「シャンハイムーン」で谷崎潤一郎賞、「太鼓たたいて笛ふいて」で毎日芸術賞および鶴屋南北戯曲賞など、受賞多数。2010年4月逝去。(参考:本書表紙裏の著者紹介文より)

7 日本全県の名所とスイーツめぐり…第24回は三重県です。

○名所 (参考:「ぐる旅」その他より)

◆伊勢神宮・・・天照大御神を祭神とし、ご神体は三種の神器の一つ八咫の鏡。内宮の入口である宇治橋を渡り、玉砂利を敷き詰めた長い参道を進むと、そこは神域、神聖な空間です。こんなに荘厳で緊張感のある場所は他に経験がありません。「お伊勢さん」「大神宮さん」と親しく呼ばれる伊勢神宮とは、ひとつの神社のことではありません。皇室の祖神である天照大御神(あまてらすおおみかみ)を祀る皇大神宮、通称「内宮」(ないくう)。衣食住の守り神である豊受大御神(とようけのおおみかみ)を祀る豊受大神宮、通称「外宮」(げくう)。これらを中心とした125のお宮とお社を総称して「伊勢神宮」(正式名称は「神宮」と呼びます。神宮林などもすべてあわせると、広さはなんと東京ドーム約1200個分という広大な敷地です。

◆鈴鹿サーキット・・・鈴鹿サーキットは三重県鈴鹿市にあります。1962年に本田技研工業によって建設された国際レーシングコースを中心としたレジャー施設です。F1グランプリや鈴鹿8時間耐久ロードレースなども開催され、日本有数のサーキットとして国際的にも名が知られています。サーキットのほか、乗り物がテーマの遊園地「モトピア」やホテル、レストラン、温泉など、子どもから大人まで1日たっぷり遊べる施設です。父の実家から近く、小学校の頃はよくこの遊園地に行っていました。

○スイーツ・土産

三重県には幼い頃から何度も訪れた父の生家「最勝寺」があり、その伊勢の地には、昔から「お伊勢参り」として全国から参拝客が押し寄せる「伊勢神宮」があり、その参道には「赤福本店」を始め数多くの銘菓がお土産として売られています。私のスイーツの原点は、この「赤福」と「平治煎餅・最中」です。

【赤福】赤福餅の誕生は、今からおよそ300年前の宝永四年(1707年)。赤福餅は、お餅の上にごし餡(あん)をのせた餅菓子です。形は伊勢神宮神域を流れる五十鈴川のせせらぎをかたどり、餡につけた三筋の形は清流、白いお餅は川底の小石を表しています。名は「赤心慶福(せきしんけいふく)」の言葉から二文字いただき、「赤福」と名付けたと言い伝えられています。上品なごし餡が最高です。

【平治最中】外はさっくりの皮、中にはたっぷり入った餡子の甘みが口の中に広がる逸品です。お茶との相性も抜群です。あんこ好きにはおススメです。

【平治煎餅】歴史と伝統で培った昔ながらの製法が生む名菓。阿漕平治の伝説で昔から有名な平治の忘れた「笠」を模った卵煎餅。口当たりよく、あっさりとした味で、幅広い世代の方に愛されています。一袋に3枚入りです。

8 保護者の皆様へ…朝食を抜くと成績が下がります。

お子様は朝ご飯をしっかりと摂れていますか。人間の体の中で一番カロリーを消費するのは大腿四頭筋(太腿)ですが、2番目にカロリーを消費するのは脳です。精一杯努力しているのに成績が思うように伸びないのは、エネルギー(カロリー)不足に原因があるかもしれません。脳を働かせるのに十分な栄養摂取を。

【表面の問いの答】※「be forsaken by everybody」「have the whole world against one」「dead-end」「with enemies on all sides」「with no way out」など。

- ①うるわしい②いさぎよい③くやしい④えらい⑤やかましい⑥まぶしい⑦いちじるしい⑧わずらわしい⑨わかい⑩かしましい⑪おびしい⑫みにくい⑬ひどい⑭いやしい⑮おそろしい⑯とぼしい⑰すさまじい⑱かたじけない⑲いぶかしい⑳おびたしい